

数学

岡山大学

Ⅲ型

(前期日程)

<全体分析>

試験時間

120 分

解答問題数

4 題

解答形式

記述形式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

出題の特徴

融合的な問題が多い (3題)。

その他トピックス (入試改革の方向性を踏まえた目新しい出題など)

数学Ⅲの本格的な微分・積分がなかった。

<大問分析>

問題番号	出題分野・テーマ	範囲	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
1	確率 整数	A	不定方程式	標準
2	複素数平面	Ⅲ	円と偏角	標準
3	空間ベクトル 体積	B Ⅲ	断面積と体積	やや難
4	双曲線 2次関数	Ⅲ I	距離の最小値	標準

※難易度は5段階「難・やや難・標準・やや易・易」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

融合問題にも対応できるような柔軟な計算力や、図形を利用した解法ができるような力をつけておきたい。